

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

2024年4月26日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社 木村建設
所在地	〒742-2513 山口県大島郡周防大島町大字森 890 番地
代表者役職・氏名	木村 雅彦
担当者連絡先	電話：0820-78-1925 メール：kimuken-sy.kimura@outlook.jp
ウェブサイトURL	https://kimuken-suo-oshima.com/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は昭和27年に創業以来周防大島の海に囲まれた環境の中で公共事業活動を行う総合建設業であり、山口県の港湾工事（海上土木工事・浚渫）の請負事業を実施しています。港湾施設整備・高潮対策工事・災害復旧対応等を多岐に渡り手掛けてきたノウハウと実績を培っており、環境に配慮した施工と対策・対応能力により地域に貢献してきたと思っています。今後も環境に配慮した施工や体制を整えつつ、地元地域の環境保全に努め社会貢献を実施していきたいと思います。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
□環境 ✓社会 ✓経済	ICT技術やITツールを活用した働き方改革による業務改善	4週8休の定着
✓環境 □社会 □経済	水資源の汚染防止と生態系への影響軽減・防止対策	環境保全対策による水質及び生態系への影響0を目指す。
✓環境 □社会 ✓経済	会社全体を通した書類のペーパーレス化を図る	書類のペーパーレス化 【現状】 10% 【目標】 70%

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	やまぐち男女共同参画推進事業者の取得					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	ハラスメントに対する規約を設けており、相談役を配置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	ノー残業デーを設けており、労働生産工場のためのITツール及びソフトを利用して時間外労働の削減に努めている。								8.5 8.8								
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	ISO45001認証取得			3					8								
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる				3													
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	女性の積極的な雇用活動に努めており、高齢者が働きやすい職場づくりや本人の意見を尊重した職場としている				5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	社歴に応じた研修制度を設けており、外部講習なども積極的に参加するよう促している。			4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	【予定】健康経営企業認定制度の取得を目指す			3				8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	産業廃棄物の処理に関して、マニフェストの管理を適切に行い保管している										11.6	12.4 12.5		14.1			
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている								7.3						13			
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている						7.2 7.3						12.4	13.3				
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9		6.3				11.6	12.4						

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
15 16 17 18 19 20	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	工事着手前に周辺生物及び環境に悪影響を及ぼす可能性がないか、社内全体で現場周辺調査を実施し対策を検討している								6.6							15	
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる									6.4								
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	労働マネジメントシステムISO4001認証取得			3.9			6	7				12	13.3	14	15		
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6				
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる									7.2				13				
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15		
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9								12.4					
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	品質マネジメントシステムISO9001認証取得									9							
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる						6						12	13	14	15		
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
25 26 27	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	工事着手前は必ず自治会に工事説明に行き、必要に応じて近隣住民にも個々に工事説明をし理解を得ている				4					9		11	12		14	15	17
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	地元で開催される清掃イベントに積極的に参加し、工事箇所周辺の海岸清掃や草刈りなど景観美化に努めている				4							11			14	15	17
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	例外を除き県内資材の活用をしている								8	9		11	12	13			

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	経営者が理念を持ち、適時社員に周知し目標を共有し、HPに掲載している									8	9						17
	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	責任者を明確にして徹底した管理を行っている																16
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	責任者を明確にして徹底した管理を行っている																16
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	必要に応じて対応できるよう責任者を配置している															16	17
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	ISO45001認証取得																16
	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																	16
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している											9		11		13.1		16
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	経営者が会社の現状・課題を把握しそれらに対する計画を明確にしてている									8	9						17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したもので、個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。

(様式第4号)

令和7年7月17日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地： 山口県大島郡周防大島町大字森890番地
名 称： 株式会社木村建設
代 表 者： 木村 雅彦
登録年月日： 令和5年3月29日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 ✓経済	ICT技術やITツールを活用した働き方改革による業務改善	4週8休の定着	2024年度公共工事における4週8休の取組 100%達成
✓環境 □社会 □経済	水資源の汚染防止と生態系への影響軽減・防止対策	環境保全対策による水質及び生態系への影響0を目指す。	公共工事において水質の影響を受ける可能性がある工事の際には、汚濁防止膜の設置を義務化
✓環境 □社会 ✓経済	会社全体を通した書類のペーパーレス化を図る	書類のペーパーレス化 【現状】 10% 【目標】 70%	現場管理における書類のペーパーレス化は90%以上達成中。